

やすだ雄一郎と共に区民参加の大田区を！



コロナ禍で貧富の格差は広がり、若者の貧困、子どもの自殺、高齢者の孤独死など、とても生きづらい世の中です。

だからこそ、税金は区民のいのちと生活を守るために使われるべきです。

ひとりの声は小さくて

も、大きくなれば変わっていきます。

区民の声をやすだ雄一郎と共に区政に届けていきましょう！

やすだ雄一郎 プロフィール

- ・1981年 41歳
- ・岐阜県生まれ
- ・岐阜経済大学中退
- ・20歳の頃から無農薬野菜に興味を持ち、千葉県野田市で農業に従事。
- ・緑の党大田地区委員長
- ・党青年部長
- ・安心安全な食品を広める大田の会代表
- ・マールハートバンドを結成。反戦、脱原発、九条を守ろうと、歌を通して広く発信する活動を行っている。
- ・アジア平和友好の道子ロンヌブ副代表
- ・現在、地元の障がい者施設に勤務



あなたの声を
区政に！



**やすだ
雄一郎**
ゆういちろう

野呂恵子さんの後を継いで区政に挑戦

私の青春は、自分探しの旅でした。大学時代、親友を病気で失い、自分らしく生きるとは何かと考え、故郷を後にしました。そんな旅の中で、素晴らしい人に出会えたのはとても幸運でした。野呂恵子さんもその一人です。私が、無農薬農家で野菜作りを始めた時、野呂さんに出会いました。彼女は、農業や化学肥料に頼るのではなく、土にも人にも優しい健全な食物連鎖の農業を目指さないと日本の農業はだめになることを熱心に訴えていました。それに共鳴した私は、20年間選挙のボランティア活動をしてきました。そして、この度、バトンをしっかりと受けとり、その遺志を受け継ぎ、ここ大田区で、頑張る所存です。



大田区政に尽力した野呂恵子さん

3月緑フォーラム

会場 消費者生活センター (蒲田5-13-26-101)

3/26 (日)
10:00 ~ 12:00

資料代 500円

介護学習会
「安心して地域で過ごすために」

講師 浜 洋子さん (NPO法人大田区介護支援専門員連絡会 理事長)

※介護現場の実態、そして私達が使うことになる介護保険について、共に学んでいきましょう。 実行委員長 やすだ雄一郎

やすだ雄一郎後援会 「市民と雄一郎の緑会」

市民が参加するまちづくりをめざします。



年会費 1口1,000円 (何口でも結構です)

振込先 ゆうちょ銀行 10510-70244291 ヤスダユウイチロウ
他銀行からの振込先 ゆうちょ銀行 〇五八 (ゼロゴハチ)
普通 7024429 ヤスダユウイチロウ

無料法律相談のご案内

やすだ雄一郎事務所では弁護士による無料法律相談を行っています。

3/25 (土) PM1:00 ~
場所 やすだ雄一郎事務所
相談は予約制です。一人1時間以内にさせていただきます。

自由おおた 2023年3月

事務所 〒146-0093 大田区矢口 1-20-2-101
Tel 03-3758-2758 Fax 03-3758-6525
e-Mail yasuda.otagreen@gmail.com





やすだ雄一郎はめざします

全ての政策は命をつなぐために

ひとりひとり大切にされる大田区に



子ども・若者の教育・未来のために

- ◆ ひとりひとりの個性を尊重し、障がい児も共に育つ教育・中高生の居場所づくりを
- ◆ 子どもを守る権利条約制定と子育て支援の拡充を
- ◆ 区が責任をもって指導し、保育所の安全運営と質の向上を

地域の活性化のために

- ◆ ものづくりを活性化させる中小企業の支援を
- ◆ インボイスの中止を
- ◆ 蒲蒲線の見直しを

大田区では最高で9000事業者があったものが、現在は3000を割っていると言います。蒲蒲線の開発には莫大な区税を注ぎますが、中小零細企業の50%は借家です。工場アパートの値下げ、あるいは家賃の補助を行う必要があります。また融資や新しい技術開発の支援も必要です。大田区のものづくりを活性化させ、安心して働けるまちをめざします。



食の安全と緑のまちづくりのために

- ◆ 安心・安全な食品の提供と学校給食の無償化を
- ◆ 脱原発で再生エネルギーの普及を



次世代の健康や安全を守ることは、私たちの責務。子どもを安心して生み育てることができるまちづくりが必要です。そのために、学校給食の無償化をめざします。

誰もが安心して暮らすために

- ◆ 高齢者・障がい者・子どもなど弱者を支える防災のまちづくりを
- ◆ 低所得者や高齢者が安心して住める家賃の補助を

平和・人権のために

- ◆ 武力で平和は作れません。憲法を生かし、戦争のない平和で文化的なまちをめざします。
- ◆ 誰もが政治に参加し、開かれた区政を、めざします。

原発事故で避難を余儀なくされた福島県の被災者を訪ね慰問コンサート



開発優先ではなく、教育・福祉・平和のまちを！

